

令和7年度

ふくしま

ゼロカーボンへの挑戦



福島県では、2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、「ふくしまゼロカーボン宣言」、
「ふくしまゼロカーボンアワード 2025」事業を実施します。
皆さまの参加をお待ちしています。

みんなで!

ふくしまゼロカーボン宣言

気候変動対策に取り組むことを宣言!

申込期間

令和7年6月2日(月)~令和8年3月31日(火)

申込方法

電子申請

電子申請でかんたんチェック!

申請いただいた学校には、ポスターをお送りします。

更にチャレンジ!

ふくしまゼロカーボンアワード 2025

モデルとなる気候変動対策の取組を表彰!

申込期間

令和7年6月2日(月)~令和7年9月19日(金)

申込方法

郵送または電子メール

優秀な取組を表彰します。

問い合わせ先

福島県 環境共生課

e-mail zerocarbonsengen_gakko@pref.fukushima.lg.jp

電話 024-521-7813 FAX 024-521-7927



詳しくは裏面を
チェックしてみてね!

ゼロカーボン宣言

みんなで！

内容

以下の気候変動対策に取り組むことを宣言してください。

ほいくしせつ・ようちえん

- ①しぜんをたいせつにしよう！
- ②のどがかわいていなくてもみずをのもう！
- ③はみがきをするときはみずをとめよう！
- ④たべものをむだにしないようにしよう！

小学校

- ①環境問題についてのニュースに関心をもとう！
- ②のどがかわいていなくてもこまめに水分を補給し、熱中症を予防しよう！
- ③歯みがきをするときは水をとめよう！
- ④食べ物を無駄にしないようにしよう！
- ⑤電気の無駄を減らそう！
- ⑥ゴミをきちんと分別し、リサイクルしよう

中・高等学校等

- ①環境問題についてのニュースに関心を持ちます。
- ②熱中症対策に取り組みます。
- ③節水に取り組みます。
- ④食品ロス削減に取り組みます。
- ⑤節電に取り組みます。
- ⑥リサイクルに努め、ゴミを減量します。

参加特典

ゼロカーボン宣言ポスター等の提供
気候変動対策に関する講師の派遣

申込方法

右記の2次元コードを読み取り、電子申請
フォームにアクセスし、申し込みください。

※ 令和7年6月2日(月)～令和8年3月31日(火)
まで有効

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/r7-zero-carbonsengen-gakko.html>

ふくしまゼロカーボン宣言 学校版



ふくしまゼロカーボンアワード 2025

更にチャレンジ！

内容

福島県2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、モデル的な気候変動対策に率先して取り組んでいる学校等を保育施設・幼稚園、小学校、中学校、高等学校部門において表彰します。

審査について

審査会により、各部門における受賞者を決定します。

申込期間

令和7年6月2日(月)～令和7年9月19日(金)

申込方法

応募用紙及び取組内容をまとめた資料(A4サイズ1枚、任意様式)を申込期限までに郵送またはメールで提出してください。

※応募用紙は右記2次元コード、下記URLよりダウンロードできます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/r7-zero-carbonhyosyo-gakko.html>

ふくしまゼロカーボンアワード 2025



提出先

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

福島県 環境共生課

zerocarbonsengen_gakko@pref.fukushima.lg.jp



優秀な取組を行なった学校等は
表彰式に招待するよ！

令和6年度最優秀賞受賞校の取組

保育施設・幼稚園

【学校法人成田学園 希望ヶ丘こども園】



SDGs ビンゴ

- ・食品ロスの削減や節電・節水などの環境配慮意識を独自のSDGsビンゴゲームをとおして、家庭とも一体となって醸成している点が高く評価された。
- ・また、電気の使用量が多くなると色が変わる「スマートクロック」を使って電気の使用量を見える化し、省エネ意識を高めている点が高く評価された。

小学校

【会津若松市立川南小学校】



ゴミの分別の徹底

- ・節水やごみのリサイクルの取組、地域の緑化活動のほか、温室効果ガスの吸収源である森林に関して学校林を活用した環境づくりを行うなど、ユネスコスクールとして、自然環境との関係性も要素としながら、ESD(持続可能な開発のための教育)を推進している点が高く評価された。

中学校

【猪苗代町立猪苗代中学校】



猪苗代湖周辺の水草回収

- ・節電や節水、ペーパーレス化の推進といった取組のほか、地域ならではの取組として、猪苗代湖周辺の水草回収を実施し、それを肥料として再利用するなど、多岐にわたる活動を「一人の100歩より100人の一歩」をスローガンに実施している点が高く評価された。

高等学校

【県立安達高等学校】



ESD 発表会

- ・ユネスコスクールとして、ESDやSDGsを基にした探究学習などをとおして、環境問題への意識を深める取組を行っている点が高く評価された。
- ・また、生徒手帳のデジタル化や置き傘の再利用などをとおして、資源を無駄にすることなく利用する取組を実践している点が高く評価された。